

2023～2024年度クラブ目標

創立1986年

『みんなが楽しい ローター』



世界に希望を生み出そう

2023-24年度国際ロータリーテーマ

会長 佐藤 幸彦  
幹事 村上 堅二



## 第1807回例会

令和6年5月30日 (18:30～19:30)

○ソング

- 四つのテスト

○ビジター

- 県南分区ガバナー補佐 佐藤靖一様、十文字宗博様

○スマイルBOX

- 県南分区ガバナー補佐 佐藤靖一様 (スマイル!!)
- 佐藤幸彦会長 (県南分区ガバナー補佐 佐藤靖一様、入会予定者、十文字宗博様ようこそ。金田会員、藤田会員、兼子会員、シンガポール国際大会お疲れ様でした。鈴木信教会員、卓話ありがとうございました。)
- 村上堅二幹事 (本日は佐藤ガバナー補佐、十文字様、御参加有難うございました。本日も宜しく願いいたします。)
- 宮本多可夫会員 (県南分区ガバナー補佐 佐藤靖一様ようこそ。十文字宗博様これから長いお付き合い、宜しくお願いします。)
- 永野文雄会員 (県南分区ガバナー補佐 佐藤靖一様ようこそ。十文字宗博様、早く仲間になりましょう。卓話、鈴木信教会員お久しぶりです。ありがとうございます。)
- 沼田重一会員 (佐藤ガバナー補佐、一年間ありがとうございました。又、十文字さんようこそ白河RCへ!)
- 居川孝男会員 (吉野野球愛好会監督の初陣をかざれず申し訳ありませんでした。クラブからの応援ありがとうございました。)
- 金田昇会員 (佐藤ガバナー補佐様ようこそ。鈴木信教さん卓話を楽しみにしていました。国際大会楽しかったです。)

▶第1807回例会出席状況 (R6年5月30日)

Ⓐ 出席免除を受けていない正会員数	51名
Ⓑ 出席免除の適用正会員数	19名
Ⓓ 全正会員数	70名
Ⓒ ①の出席者数	22名
Ⓔ ①のメイクアップ者数	0名
Ⓕ ②の出席者数	12名
Ⓖ = ③ + ④ + ⑤ (メイクアップ補填後の出席会員数)	34名
Ⓗ = ⑥ - (⑦ - ⑧)	63
⑩ = ⑥ / ⑨ × 100 (例会出席率)	53.9%

【今週の仮メイクアップ会員】

- 5月24日 福島地区親睦野球大会前夜祭  
運天直人、堀田一彦、吉田充、吉野敬之、中嶋一貴、吉成真五郎、山縣栄寿
- 5月25日 福島地区親睦野球大会  
吉野敬之、居川孝男、山縣栄寿、運天直人、櫻岡敏之、中嶋一貴、島田修一、高島裕、吉成真五郎、堀田一彦、吉田充、車田裕介
- 5月24日～29日 シンガポール国際大会  
金田昇、藤田龍文、兼子聡

▶例会日: 第1・第3木曜日 (12:30) その他の木曜日 (18:30～19:30)

▶例会場: 白河市新白河駅前 東京第一ホテル新白河

▶事務局: 〒961-0957 福島県白河市道場小路96-5 (白河商工会議所内) ☎23-3101 FAX22-1300

## 本日のプログラム

### ■会長の時間

佐藤幸彦会長



皆さんこんばんは。初めに、お客様の紹介をさせていただきたいと思えます。県南分区ガバナー補佐、佐藤靖一様でございます。もうひとかた入会予定者、十文字宗博さんでございます。後程、お二方よりも一言ずついただきたいと思えますので、どうぞよろしくお願ひしたいと思えます。また、あと御礼の挨拶が来ておりますので、金田昇様にこれを渡したいと思えます。内容は、石川ロータリークラブの40周年記念に向けてガバナーノミニージェグジネートとして乾杯の音頭、発声をしていただいたということで令状が来ておりますので、後程渡したいと思えます。ちょっと頭の体操をさせていただきたいと思えます。皆さん、円の直径は幾つでしょう。円の直径。永野さんにヒント差し上げます。さしごです。さしごの法則ですね。これは何故急に出したかということ、ちょっと今日は私の仕事絡みの話をしたいと思えます。これ今、答えは、10ですね。永野さんにさしごと言った、さしごでピンと来たかと思うんですが、この底辺から直角が出てる場合ですね、必ず3、4、5になるんです。ちょっと見づらいですかね。わざとこれ6、8にしてあるんですが、ここを3と4に置き換えますと、円の直径は5になるんです、必ず。これ3cm4cmも5cmになりますし、3尺、4尺でも5尺になるんですね。これ何故言ったかと言いますと、これ私たち現場でやる時に、必ずこれで直角を出してます。現場に行くと大体じゃさしごで出せて。さしごという法則で、これピタゴラスの定理から来てるんですが。ほとんど今でも、これは直角を出すのに現場では使われてる技術でありますね。あの現場で直角を出すと言わないんですが、じゃあ矩(かね)出すか、さしごで行くぞという形でスケールを持たせて、チャチャチャチャチャーン、あっ何故こんなとこにスケールが。3メートル決まれば、まあ4でもいいですけども、4と5のスケールを持ってこうやって合わせるんですね。そこで直角になるというこれでございます。続きまして、次現場でレベル出せて行った時にですね、レベルっていうのは水平なんですね。チャチャチャチャチャーン、皆さん、水盛り管というのはご存じでしょうか。これ本当はもっと太いホースでやるんですが、水道ホースでやるんですが、わざと入浴剤で色を付けてきました。永野さんに聞いたんですが、永野さんは知っているとさすがに言ってるんですが。これはどうやっても水のレベルなんですけども水平なんです、これが。さ

て、この演台が水平かというところでこの高さを両側からも図るし、これが合わせれば完全に水平だと。現場でやる時に、じゃあこの高さに向こうの地面の高さどのくらい違うかということ、これが10メートルも20メートルもありまして中に水が入ってるんですが、ここを合わせておいて、これずっと引っ張っていくんです。必ず水というのは水平になるので高さがとれる。これ、水盛り管と言いまして今はほとんど使われてないんですが、今から30~40年前はこれで現場で実際にやりました。私もやった記憶がございます。へえ、すごいなど。これ小学生に見せると一見面白かったのは、さあ皆さんから見て右手を下げて左手を上げたら中の液体はどうなるでしょう。動かないんですね。わかります。実際は管が細いからあれですけども、どうやってもこれは水平、水が必ず水平ですね。ちょっと意地悪してここを塞いでやると、水はそのまま上がってきますけど。ほとんどこれで昔はレベルを取っていましたが、水平を取ってました。へえって感心する。この水盛り管というのはもう使われなくなりまして、水平器というのが出ました。チャチャチャチャチャーン、水平器です。おもちゃですけども、おもちゃ実際使われているんですが、これで皆さんから見えづらいかもしれませんが、中に空気が入ってまして、斜めだよとか水平だよとかっていうのが水平。あとで欲しい方差し上げますのでどうぞ。その後は今、水平器というのもですね、短いとこには使われるんですが、今はもうレーザーレベルになっておりまして、ポンと置くだけでレーザーがバーッと走るんですね。それを持って自分でレーザー受信機を持ちながら、もしくはグリーンとかレッドがあるんですけども、そこでピピッと印付けるとすべてそれで水平が出てしまう時代になりました。また、先程レベルを出したという話しましたが、今トランシットという機械もございまして、もう直角、矩を出すより何でもトランシットで操作あげればすべて直角でも何度でも水平も出てしまうという時代になっております。今度、距離を測るには、皆さんいつも持ち歩いてますかね。持ち歩いてないですよ。これで測るんですが、ちょっと古い話ですが伊能忠敬が日本一周をして17年間かけて日本地図を作ったということですね。あの頃は、メジャーも何もなかった時代ですね。どうやって測ったかということですね、伊能忠敬は歩幅、一步の幅が69センチだったそうでございます。それを一步一步ずっと歩いてそれを重ねて重ねて方位だけを計って、あの日本地図を作ったそうでございます。これを私、カーポートだのデッキだのフェンスをやる時に、これを使って水平の矩出したりレベルを出したりやることがございます。さてもう一

点、今度電気の問題ですね。来月から補助金がなくなりまして、電気代が上がるということなんですけども。1kwあたり31円、昔だと27円だったんですが。その1kwあたり31円とピンとこない人がほとんど、私のお客さんでいろんな方いるんですけども。単純に説明するのは、1000Wのドライヤーを1時間ずっとブーっと付けっぱなしにすると31円ですよってお話をしてあげるんです。今まではですね。来月からちょっと上がるでしょうけども。例えば、1000Wのドライヤーを1日5分かけると、かけて1か月毎日5分間使って幾らですかとなると78円なんです。それを同じく、1000Wのドライヤーを1日5分かけて1年間かけるとそれでも930円ですね。知れたもんですよね、と思います。あとよくテレビなんですけど、テレビは50インチだ100インチだとかプラズマとかによって変わるんですけど、大体おおむね200Wと仮定すると1日5~6時間見たとすると、計算すると大体1日20円なんです。20円×30日で毎日テレビを5時間見たとして1か月600円なんです、テレビ代って。というような感じで、計算式は簡単にKW×時間で出るんですけども。例えば、皆さん電球、一般的な電気を60Wと仮定すると、60Wは1時間あたり2円なんです。一日6時間付けっぱなしにしても月360円ってことですね。あの電気がもう一つなんですけど、電気のこと。よく今、インバーターって聞くとおもうんですけど、インバーターって何だかっていいますとですね、簡単に言うと電圧と周波数を変えられる機械ですね。難しく言うと交流から直流、直流から交流に変えるコンバーターからインバーターにして変えるんですけど、それをする事によってよくエアコンなんかそうなんですけど、昔のエアコンはオンオフしかなかったですね。弱流、強ありましたけども。車でいうとアクセルがベタ踏みの状態と踏まない状態、それが繰り返されてたんですね。今はこのインバーターによって、モーターの回転数を変えられるんですね。例えば2.5キロのエアコンっていっても、0から2.5じゃなくて自由に変えられるんですね。なので、消費電力がものすごく少なくなると。設定温度を低くなると、どんどんモーターの出力落として消費電力が抑えられるという仕組みになってます。ちなみに、皆さんご存じでしょうけども50Hzと60Hz、こっちのほう50サイクルですけども、1秒間に電気というのはこう流れていますよね、ワンサイクル。これが1秒間に50回来るのが50Hzなんです、1秒間にダダダダって来るのが60回来るのが60Hzということなんですけども、それを今はインバーターによって自由に変えられるという時代になってます。かなり前からそうなるんですけど、そのうち皆さん節電、今年のエアコンは電気量が少ないとか、

冷蔵庫もそうですけども、そんな形でいろいろ時代は変わってきました。ということで、私今日は一切ロータリーの話はしませんので、このあと分区補佐の話とか、シンガポールの国際大会の話とかあると思いますので、これで会長挨拶とします。

#### ■幹事報告

村上堅二幹事

- 白河ユネスコ協会会長 小野利廣：令和6年度白河ユネスコ協会総会資料について送付
- 日韓親善委員会委員長 桑原茂：日韓親善会議開催のご案内ならびに参加のお願い
- 日本事務局クラブ・地区支援室：第4回クラブ・地区支援室メッセージ (2023-24Q4)
- 日本事務局財団室：財団室NEWS 2024年6月号
- 青少年奉仕委員会委員長 大木和彦：「2023-2024アフターRYLA交流会」開催案内
- ガバナーエレクト 早川敬介：次年度会員増強委員会セミナー開催案内
- 石川RC会長 和知一守：石川RC創立40周年記念式典参加御礼
- ガバナーエレクト 早川敬介：2023-24年度事務担当者セミナー開催について

#### ■県南分区ガバナー補佐

佐藤靖一様



皆さん、こんばんは。日頃、西クラブの皆様には県南分区に多大なるご協力をいただき誠にありがとうございます。先だってで行われました2月4日ですね、IMのほう無事成功裏に終わりましたので、今日はこの報告書を持って年度のご挨拶という形で参りました。皆様のボックスの中に入れましたので、あとで目通しいただければ幸いです。あと6月4日、来週の火曜日。新旧会長幹事会で、一応今年度の事業はまだ矢吹クラブさんの40周年が残ってますけれども、それも8日なのでそれが終わればほぼ終わりという形になります。次々年度のガバナー補佐も須賀川のほうでやっとなりまして、先週書類いただきましたので、今日金田さんのほうにお届けに上がりました。以上、県南分区のほう大変皆様にお世話になって一年間ありがとうございました。

#### ■新入会員予定者

十文字宗博様



皆様、こんばんは。わたくし「信栄商事株式会社」の十文字宗博と申します。「信栄商事」という会社は本社が須賀川にありまして、そこの白河営業所として会社員として働いております。



主に損保ジャパンと東京海上の損害保険を扱っておる代理店として働いております。白河西ロータリークラブさんとは、7年程前に車田裕介さんが入会した例会に白河青年会議所のメンバーとして一度だけ参加させていただいたことがあります。ただ今、わたくしはこちらの会の入会審査中のごさいます、まだ入会できるかどうかはまだ定かではないのですが、一応犯罪歴もありませんし、あと借金をしてブラックリストに乗ってるといこともないので、このまま行けば入会できるのかなと考えております。ありがとうございます。そして、入会した際には長い長い付き合いとなると思いますので、今後ともよろしくお願ひします。

### ■野球愛好会

吉田充会員



皆さん、こんばんは。監督を退いた吉田でございますが、今年度会長が欠席なので私のほうで野球愛好会の東北大会福島県予選の試合結果をご報告したいと思います。皆さん頑張ったんですが、あとはクラブのほうから激励金、会員の皆様からの激励金いっぱいいただいたんですが、前日に飲み過ぎたのか試合当日は、あまり振るわず、4対11で、白河ロータリークラブに、また負けてしまいました。いつかこのお返しはしなくちゃならないと私個人的には思ってるんですが、私も66歳にもうすぐなるのでそろそろ若い方々に頑張っていただいて、白河ロータリークラブに、勝っていただきたいというふうに思っています。応援していただいた会員の皆様には大変申し訳ございませんが、敗北とした報告になってしまいました。また応援のほうをよろしくお願ひしたいと思います。ありがとうございます。

### ■シンガポール世界大会の報告

金田昇ガバナーノミニデジグネート



皆さん、こんばんは。先週の木曜日から昨日まで国際大会でシンガポールのほうに行っていましたので、簡単に報告させていただきます。信教さんのお話を皆さん待ち望んでると思ひますが、もう少々お時間お付き合いいただければというふうに思ひます。2024年ロータリー国際大会。とてもエキサイティングな時間を過ごしてまいりました。国際大会とはということで幾つかあるんですけど、一生の思い出と友情が生まれる場所。本会議に出席して非常にロータリアンとしての意欲が高まったこと。開催都市であるシンガポールの醍醐味を十分に味わって来ました。会場でライブのエンターテイメントがウェル

カムで沢山行われまして、そのアトラクションも十分に楽しむことができました。国際大会は私たちだけじゃなく、一般の方々、それから現地の方々にも大きなインパクトがあったのではないかなというふうに思っております。白河西ロータリークラブから、私と藤田龍文会員、それから兼子聡会員の3人で郡山南ロータリークラブの6名の会員の皆様と一緒に羽田から行ってまいりました。JTBをメインにですね、お願いいたしました。日程はこのようなどおりで、5月24日から行われ



まして29日に羽田に帰ってきました。兼子会員は現地集合現地解散ということでちょっと違うかったんですけど、その後どこに行ったかは私はちょっとわからないんですけども、でも、ほとんど一緒におりましたので危ないところに行っていかなかったことはお伝えします。ちょっと次になります。シンガポールという街ですね、ちょっと簡単に紹介します。国土は東京23区と同じく



らいの狭い所に、人口は550万人いるということです。とても綺麗な街でゴミ一つ落ちてない。日本よりも綺麗だなというふうに思ひます。それから、ガムを持ち込みできない。それから、タバコ持ち込みできないということで、ガムのポイ捨て、それからタバコの歩き吸いなんかしていると逮捕されるそうでございます。そのくらい綺麗な街でした。この写真に写ってるマライオン、それからシンガポール観光を通じてやったんですけども、マライオンだけではなくガーデンズバイザベイと言って植物園とか、ナイトサファリなんていうのも楽しませていただきました。それから初日の日なんですけども、ちょうど藤田龍文君がコザロータリー



クラブが来てるよということで、コザの皆さんと一緒に現地で会ったということで、芝田さん、中原さん、前原さん、中尾さん等々ですね、懇親を深めてきました。いつものとおり、あの芝田さんの軽妙なお話の中からですね、今後の姉妹クラブとしてどんなことやっていこうかなんていうふうなアイデアとかもいただきましたので、これからまた交流が深まるのかなと

いうふうな感じがありました。それで翌日、本会議の当日、日本人朝食会というのがありましてそこに私たちも参加しました。日本人の方、250~300人くらい



らっしゃって、その朝食会というのの中に、ゴードン・マッキナリー R I 会長、それからステファニー会長、次年度の会長エレクトもいら

っしゃいまして、いろいろお話をいただきました。ほとんど英語だったんで、まあわかった部分もあったりわからなかった部分もあってですが、素晴らしい時間だったなというふうに思いました。それから本会議なんですけども、写真の右の上のほうのは記念写真、集合写真を撮りました。本会議場はですね、7000人入る所です。今回は1万4000人来たんですけども、いっぺんに入れる会場がないってことで2部構成で午前中と午後、私たちは午後の部に入りました。まあ一会場に7000人入りますので、



同時通訳をスマートフォンを使いながら聞きながらお話を聞きました。非常にダイナミックなエキサイティングな素晴らしい本会議でした。本会議終わりました、ちょうど会場の右の下のほうに写ってるのが、私と同年でガバナーを務めていくことになり岩手県の予定者と、あと東京の予定者の方と3人。また、他の方たちともお会いできました。それから、左端の台湾の女性の方がバッチの交換しようということで、バッチあの台湾のバッチをいただいたと。こんなふうなことで友情を深める場所にもなりました。それから当日夜はですね、2530地区のガバナーナイトということ

で、右近ガバナーと福島ロータリークラブの方、それから浪江ロータリークラブの方が一緒になってですね、ガバナーナイトを20人で楽しく行うことができました。早川エレクト



が本当は参加する予定だったんですが、急遽出発の日お母様が亡くなったという訃報が入りましたので、残念ではございましたが私たちだけでガバナーナイトを楽しませていただきました。非常に美味しいあの現地の料理を食べさせていただいて良い時間を過ごしました。その後ですね、これは写ってるんですけどもその二次会を行ったんですけどラッフルズホテルに行って、スエズ運河より東では一番素敵なホテルと言われるエキサイティングなラッフルズホテルですね。超高級ホテルに行ってそこにバーがあるんですけども、ロングバーと言ってシンガポールスリングという飲み物の発祥の地ということですね、入ってくるのにとら食堂かと思うぐらい並んで待たされてですね、入って一杯だけ飲んできたと。一杯大体5,000円ぐらいですかね、そのカクテルのですね。ちなみに、非常にコストというかいろんなものが値段が高いですね。缶ビールは一つ800円位でしたかね。生ビールは小さいジョッキで1,500円位ですかね。日本の大体2.5倍ぐらいの、全てがコーヒーでも何でもそんなふうな値段でありました。そんなことで楽しい時間と仲間をこう共有して行ってまいりました。今回は、わたくしがガバナー予定者ということで無理やり行きたいと言って、藤田君と兼子君にお付き合い願いまして楽しい時間を過ごさせていきました。それにしても、非常にエキサイティングな時間だったので是非ロータリーに入っていられる方は、生涯のうち一度でも二度でも、国際大会に参加して行っていただければなというふうに思いますし、これからガバナーエレクト、それからガバナー、そんな中でいろんな情報を共有化していきたいと思いますのでよろしくお願ひします。来年は2025年国際大会は、カナダのカルガリーで行われます。非常にちょっと遠くて、経費もかかると思うんですが、ロッキー山脈の麓の非常に広大な土地です。昔、石田捷一さんが会長だった頃に卒業旅行でみんなで行った所でございますので、行った方で思い出せる方もいらっしゃると思います。是非、来年は国際大会はカナダで、その次は台湾、その次はハワイ。私がガバナーの時はハワイということですので、是非皆様ご家族連れで楽しい時間を過ごせるようお願いしまして報告とします。ありがとうございました。



## ■本日のプログラム

### 会員の声例会Ⅲ

#### ○鈴木信教会員



皆さん、こんばんは。非常にご無沙汰しております。鈴木信教と申します。ちょっと今日お通夜がありまして、それを1時間早めていただいてなんとか間に合いました。やっぱりちょっと緊張しますね。普通にこう先程もご法話してきたんですけども、全く違う所なので非常になんかこう皆さんの視線が違う緊張感なので、本当に場慣れしてないんでどういうふうに話のテンションをどのように持っていいのかが非常に難しいです。今日、卓話にするまでの流れなんですけども、去年確かホームミーティングで金田さんからだったと思うんですけども、あの仏教について何かこう仏教とは何ぞやみたいなお話をしてもらったらいんじゃないかってありまして。それで、卓話は特に仏教じゃなくてもいいですよみたいなことがあったんですけども。まあ、じゃあせっかくだから仏教についてのお話をさせていただきたいなと思ひまして、この場にいるわけでございます。一応、私西ロータリークラブの会員としては「メガネファイン」の代表としてしているわけなんですけど、そのもう一つの本職業として石川の「浄光寺」というお寺の住職を兼ねているわけで、今入会してからもう20年ぐらいなんですけど、立場が逆転してお寺のほうが忙しくなっちゃってほとんどお店のほう、眼鏡店のほうはうちの家内に任せきりで、私はもうこっちのほう専属でやってるものですから。まあ、その辺の経緯話すとちょっと今日の卓話から逸れちゃうので、早速その仏教についてお話ししていきたいと思うんですけども。どうですか皆さん、仏教っていうと何を思い出されますか。仏教って何ぞやと。普通にお葬式とか法事とかっていうイメージが圧倒的だと思うんですけども。まあ、仏教とはこう仏になる教えとか、仏の教えとかっていうのがまあ一般的なんですけど、そうすると仏イコール亡くなった人とかそういうふうにご感じてしまうと思うんですよ。でも、その仏のイコール亡くなった人っていう固定観にはまず取っ払ってもらわないと、仏教っていうのは理解できないですよ。ですから、まずそこからスタートしていきたいなと思います。それで最初に言っておきたいんですけど、私はそういう社会科の教員免許とかも持ってないし、その大学でインド哲学とかそういう専門的な勉強もしたことないですから、一介の真言宗僧侶にすぎませんので。その真言宗僧侶の立場からお話しさせていただきますので、私的な偏

見も入ると思うのでご理解いただきたいなと思います。その仏教っていうのはいったいどこで誰が開いたのかということからお話ししていきたいと思うんですけども。大体紀元前500年頃、北インド地方のゴータマ・シッダールタと、通常皆さん知ってるのはお釈迦様です。お釈迦様が開いたわけですよ。ゴータマ・シッダールタというのが俗名なんですけども、釈迦族の王子、皇太子です。ゴータマ・シッダールタ。釈迦族っていうのは、マガタ国っていう大きな国があって、今でいうと北インドのほうですね。そのマガタ国の属国の釈迦国の皇太子です。ですから、お釈迦様お釈迦様なんて言ったりするんですけどね。その王子が大体29歳ぐらいまで、本当に何の迷いもなくそのお城から出ることもなく育ってきたわけなんです。ある時、4つの門、東西南北の門から出るようになったんです。出たいと大きな広い城から出てみたい、外はどうなってるんだ。それ四門出遊(しもんしゅつゆう)と言うんですけど、その出た時にある門から出た時に老人を見た、あれなんだって、お城の中では老人そんな年とった人はいない。老人を見て、あんな人いるのかってびっくりしたわけですね。そしたら、その付き人が人間はみんな年取っていくんだと。29歳になってですよ。29歳になって初めてそういう人を見たわけですよ。びっくりしたと。本当かと思うんですけども。多分、こういう話みんな盛ってると思うんですけども。でも、多分そういう事なんですよ。またある時、違う門から出たら今度はすごい病気になって苦しんでる人を見た。あれは何だと付き人に聞いたら、あれは病気でもう今にも死にそうになって苦しんでる人見た。またある時、違う門から出たら今度は亡くなってる、死んでる、亡くなって死んでる人。あれなんだって。あれは死んでる人だと、あの人は生き返ったりしませんよ。また違う最後の門から出た時に、今度は修行してる人を見た。そしたら、それを付き人に聞いたら、あの人は世の中のことについていろいろ悩みがあって、それを解消するために修行してるんだって聞いて、お釈迦様はゴータマ・シッダールタは迷ったそうなんです。それが4つの苦しみの始まりです。しばらくお釈迦様はそれで考えて、今までのうのうと生きてきてどうすればいいんだろうかと。で、出家することになったわけですね。本当かなと思うんですけど、29歳にもなってそういうのうのうと何の迷いもなく悠々な暮らしをしてきて、そういう人を見て出家するっていうそういう覚悟になる自分の立場に置き換えて皆さんなれます。どうでしょう。まあそういうことなんですよね。いざ出家をしたわけですよ。出家っていうのはどういうことかっていったら、もう自分の親や家族の皆に皆大

反対されたんですけど覚悟を持って家を出たと。この世の全ての心理を悟るまで私はもう戻ってきません、修行が終わるまで戻ってきませんよということで出家をしました。ちなみに、字を反対に書くと、出家を反対に書くと家出っていうんですよ。家出はこれほとんでもないことになりますからね。親の許しなく勝手に家を出てって、行方不明になるようなことを家出ですからね。そして、修行していくうちにもう4つの最大の苦しみを発見したんです。お寺さんの話とかよく聞いてる人はわかると思うんですけど、愛別離陸、愛する人との別れる苦しみ。怨憎会苦、怨み憎む者と会ってしまう苦しみ。それから求不得苦、欲しいものが手に入らない苦しみ。五蘊盛苦、人間の心身から生まれてくる苦しみ。この最初に言った4つの苦しみに生老病死。今、言った4つの苦しみを足すと四苦八苦って言うんです。あとこれも聞いたことあると思うんですけど、四苦八苦っていうのは $4 \times 9 = 36$ 、 $8 \times 9 = 72$ 、足すと108つの煩惱から生まれてくるというね。これはもう人間は生きてるうちには逃れられない。この四苦八苦は。じゃ、どうすればいいかっていうので29歳で出家して修行に入ったわけです。どういう修行をしたかという、それはもう6年間の間にいろんな修行したって言われてます。いろんな諸説あります。断食はしたし、片足立て一日中ずっと立ったままいたとか、そんなような修行をずっと6年間やってたって言われてます。もう本当に体も痩せこけてお腹と背中が付くぐらい、そのぐらい修行してた。でも、それでももう全然もう解決できない。駄目だ、やめるって言って修行やめて、そして瞑想に入ったって言われています。ある時、インド東部のブッダガヤで瞑想に入った時にある少女が牛乳で作ったお粥を「お釈迦様どうぞこれ、そんな痩せこけてちゃあ死んじゃうでしょ。」って食べさせてくれた。それを食べて瞑想に入ったら1週間ぐらい経った時に、ああこういうことかと悟りを開かれたといひます。その時の少女の名前なんていうかわかる人、今いらっしゃいます。スジャータっていうんですよ。売れるわけですよ、コーヒーのミルクが。だから、私の知り合いでコーヒーにミルク、スジャータってミルクが付いてくると、「ああ、俺も悟りの境地に入るかな。」ってコーヒー飲む人いますよ。そんなことないんですけどね。だから、メーカーさんがなんて言うか忘れちゃいましたけど。本当はここで私がじゃあその悟りの境地の世界ってどういうものかっていうと、具体的に皆さんにこう説明できればいいんですけど、やっぱりその辺はね、まだまだ私の修行の足りないところですね。で、お釈迦様の話、仏教の話っていうのはこういう感じなんですけど

も、じゃあその仏教が今度どうやって日本に入ってきたかっていうところを、もうちょっと足早でご説明していきたいと思うんですが。今からですと大体2500年前、紀元前500年ぐらいにお釈迦様が仏教を開かれて、それから大体1000年後ぐらいにインドで開かれた仏教がいろんな所をこう伝来してくるわけです。日本に入ってくるのは、もちろん中国に伝わってそこから百済に伝わって。百済は今の韓国ですよ。そこから552年に日本に伝わったといわれています。ですから、仏教がインドにお釈迦様開いてから約1000年後です。1000年後に日本に伝わってるんです。その時に、日本人は何だこの人と思ったでしょうね。朝鮮人が来て、何かわけわかんないこと言って、わけわかんない呪文みたいな唱えてて、何しに来たんだこの人と思ったんですけども、おそらくそういうのをまあ解釈していったりしてこれなんかちょっと違うぞと。そういうより良いものがあるぞというふうになって、それを外来宗教ですけども、それを日本に取り入れるかどうかで議論したのが当時の王族の物部氏と蘇我氏ですね。物部氏はそんなのは危険だから入れるな。蘇我氏はこれはいいよだから取り入れようとなって、どんどん対立してってもう結局は蘇我氏が勝ったんですけども。蘇我氏が仏教を日本国で取り入れるようになった。その系統が今でいう厩戸王、昔は聖徳太子って言ってましたけどね。今は学校では厩戸王と教えてるんですね。仏教を中心とした政治が展開されていくようになりまして皆さんご存知だと思いますが、冠位十二階とか十七条憲法。それから、もっと中心にこう遣隋使の派遣とかも積極的に外来の文化を取り入れるっていうふうになってくるわけですね。聖徳太子の飛鳥時代から、今度は移ってきて710年、奈良に藤原京から平城京ですね。遷都されるわけです。そうすると、更に仏教も非常に活性化されてくるわけですね。その時に大きな6つの宗が、南都六宗と言うんですけども出来上がります。三論宗、成実宗、俱舎宗、法相宗、華嚴宗、律宗という、あんまり聞いたことのない宗派ですね。これは南都六宗と言います。今、残ってるのは東大寺の華嚴宗。それから、法相宗ですね。そのぐらい。南都六宗というのは、ほとんど残ってるのは華嚴宗、法相宗、それから律宗というのが真言宗と合併して真言律宗となっていますが、華嚴宗は皆さんご存知の東大寺の大仏、有名な華嚴宗。法相宗というのは、清水寺が北法相宗と言いますが、そこで残ってるくらいです。そこでお話したい事もあるんですが、ちょっと次の時代に行って平安京794年、平安京が都に移るわけですね。この時代になると、今度は最も有名な日本仏教に影響を与えた最長と空海という2人が出てきます。最長は比叡



山に延暦寺、空海は高野山に金剛峯寺。この2人がもう今の日本仏教会の礎を築いたと言ってもいいかもしれないです。日本仏教会の2トップと言われてます。更に、鎌倉時代になりまして今は「いいはこつころ鎌倉幕府」って言うんですね。昔は、いいくにつくろうでしょ。いいはこに今は学校で教えてるみたいです。その時代に大きな6つの宗が登場しました。浄土宗、浄土真宗、時宗、日蓮宗、臨済宗、曹洞宗、この今の6つはみんな比叡山で修行したお坊さんが開いてます。だから、比叡山は日本仏教の母だ、母山だと言われてるんですね。対して、真言宗はそういう宗派を出してるんじゃないで、今度は分派って言って真言宗何々派、何々派というのが出てるんです。これが大きな違いですね。そのまま穏やかな感じで特にずっと来るんですけども、1603年に徳川家康が江戸に幕府を開くんですね。これは皆さんご存知だと思うんですが、それまでは特にあの仏教っていうのは普通にこう民衆のための平和を願ったりとか、そういうのが一般的な仏教だったんですけども、徳川幕府が開いてからいわゆる檀家制度。幕府が一般国民を管理する。それが始まったわけです。同時にキリスト教の排除を行ったわけです。これが幕府の大きな制度ですね。ですから、一般民衆はみんなどこかしらのお寺に入ってるというか、それが江戸時代末期までずっと続いたわけです。ですから、この地区はこのお寺の檀家さんになってる。それがずっともう基本的に江戸時代が終わる明治時代終了まで続いてきたわけですね。そして1863年に、徳川慶喜が二条城にて政権を朝廷に返還したわけです。それがいわゆる大政奉還。ここです、檀家制度っていうのは国家制度っていうのはここでもう終わってるんです。国家制度、終わってるんですよ。だから、今ある檀家制度っていうのは、基本的にないんです。自分がこういうの言い切っちゃうの、どうかなと思うんですけど。だから、今ある檀家制っていうのはもう本当に菩提寺とお檀家さんとの心と心の信頼関係だけなんです。これはもう強く言えます。あとちょっとね、私の立場からいう悲しい出来事としては、明治新政府がその神仏分離令っていうのを出したんですね。江戸時代は、まあこれは仕方なかったのかもしれませんが、お寺で神社やそういういろいろこう管理させたんですね。それを神様は神様だ、神社は神社だと。お寺はお寺だと。それを分けなさい。当然なんです。当然なんですけども、それがいつのまにか仏教は他所から入ってきたんだから別だろうっていう廃仏毀釈運動に発展していったんですね。ですから、いろんな地域でおそらく白河でもあると思うんで

すけど、まあ石のお地蔵様の首が吹っ飛ばされてるとか、石のそういう仏様が壊されてるとか、それがもう全国的に行われたんですね。そういうわけで、政府は神仏分離令っていうのをやったわけではないんですけど、そういうふうになってしまったと。それでも、お檀家さんはお寺と繋がってる檀家さんもいらっしゃるし、神葬祭に新たにこう求めた方もいらっしゃるし。でも、それはやっぱりこれは先程言いましたけど私の非常に偏見なんです、それはまあ自由な発想なんではないのかなと思います。人として、こう民主的にどんどんどんこうレベルという言葉を使っていいのかわかりませんが、文化文明が発展していく上で、江戸時代のような封建的社会がなくなって民主的な世の中になっていく上で、自分で好きなところを選べるようになってくるのは自然な流れなのかなと思います。それから、明治、大正と来て、明治憲法は信教の自由も謳ってますね。1947年には日本国憲法が施行され、それで1951年には宗教法人法も新たに交付されて、非常にこうまあなんていうか自然な流れに来てくるのかなと思います。また高度経済成長が1950年頃からぐっとこう日本人全体にこう豊かな生活になってきて、合わせてお寺のほうもお檀家さんにこう沢山ご寄付とかいただいて、平均的に豊かな寺院になってきたわけですね。そして、まあやっぱり良い時もあれば悪い時はあるということで、1990年に入るとバブルが崩壊して、そしてなかなか難しい世の中になってきて、今はどうかというとなかなか更に難しい世の中になってきて、じゃあ今度は寺院消滅問題とか、そういうのが直面してるという世の中となります。ただ、考えてみればその江戸後半、大政奉還の時期から2000万人3000万人の時期から人口問題は人口ずっと多くなってきましたが、またその時代ぐーっと戻ってきても考えれば、お寺問題はしっかり普通にやっていけば何とかこなせるんじゃないかなということだと思います。ちょっと長くなってきてしまいましたが最後にですね、お釈迦様の最後に残した言葉をですね、言ってみたく思います。お釈迦様最後にですね「自灯明法灯明」という言葉を最後の説法で残されたそうです。自分の心、それを拠り所にして、自分の思ったこと考えをしっかりと拠り所にして、変なものに頼らず生きていきなさいと、利他の他者の利益を大切にして生きていきなさいと仰ったそうです。私が思うに、仏教っていうのは本質的には思いやりの宗教だと思ってるところでございます。ちょっと長くなってしまいましたが、以上で私の今日の卓話を終了させていただきます。ご清聴ありがとうございました。